

令和8年（2026年）

No.444



7月号

花とみどりの相談所ニュース

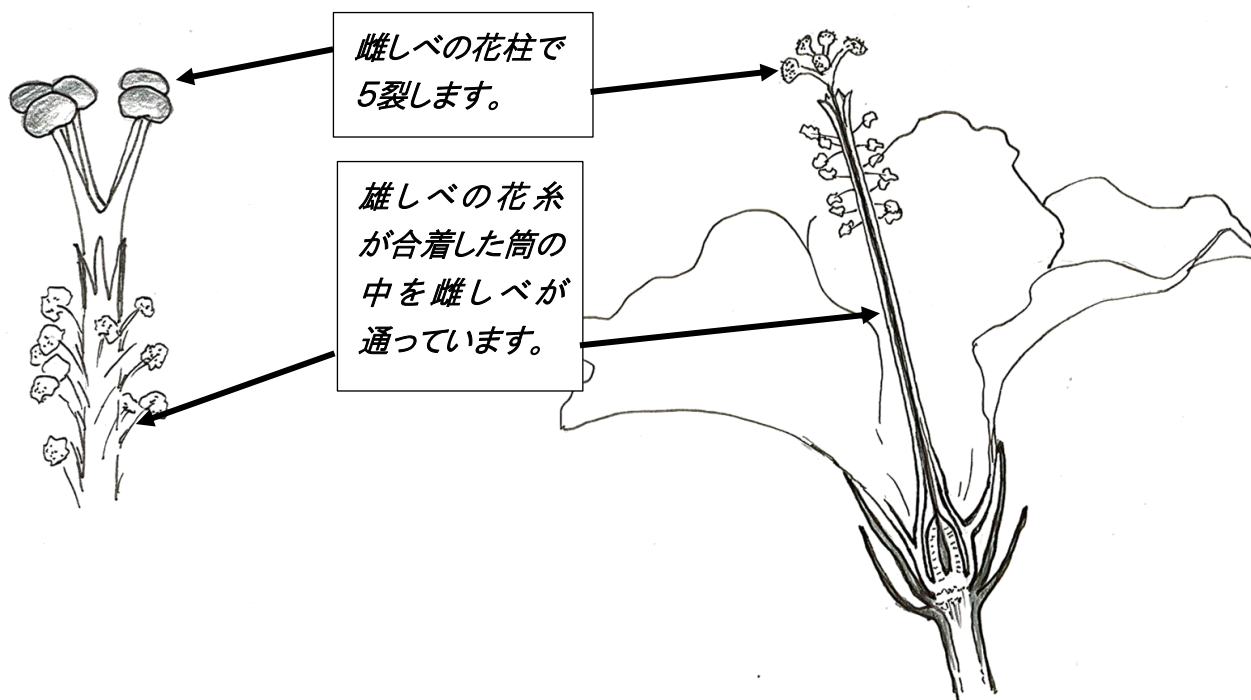
令和8年（2026年）7月 1日発行

【ハイビスカス】

夏の花と言って何を思い浮かべますか？私は黄色ならヒマワリ、ピンクならキョウチクトウ、そして赤ならハイビスカスでしょうか。南国の花のイメージが強いハイビスカスは品種改良が進み、5,000 種を超え、今でも毎年のように新品種が生まれています。長い花柱が特徴的なハイビスカスは、アオイ科ハイビスカス属の総称です。観賞価値が高く、生育も容易なことから、世界の熱帯・亜熱帯地域に広く分布しています。ハワイでは古くからハイビスカスの栽培がおこなわれ、原種もありますが自生種や固有種は花が小さめです。それらに原産地不明のブッソウゲやアフリカ原産のフウリンブッソウゲなどが交雑され、現在にいたる多様なハイビスカスが生まれたようです。昔からの赤い花はオールドタイプと呼ばれ、丈夫で育てやすいです。カラフルで花の大きいものは、ハワイアンタイプと呼ばれています。どちらも耐寒性は強くないことから、冬は室内で管理します。観賞用以外で近年栽培が多いものにローゼルがあります。同じハイビスカスの一種で、花の後に大きくなる赤い萼と苞をお茶にします。お湯を注ぐと酸味のある赤い色のハーブティーができます。鮮やかなルビー色はアントシアニン系色素とフラボノイド系ポリフェノールによるもので、優れた抗酸化作用がありビタミンCも豊富に含まれています。

ハイビスカスの花を見かけたら花をのぞいて見てください。花の中心から長い花粉がついた柱が伸びています。柱は雄しべの花糸が互にくっついて筒状構造になったもので、その中を通して雌しべが伸びて、先に 5 つに分かれた丸い雌しべの花柱だけが出ています。この柱は蕊柱（ずいちゅう）と呼ばれるもので、柱の色は花卉同様に色々あります。赤以外のカラフルなハイビスカスを見たら観察してみてください。

（文：奥井里実相談員）



7月の花とみどりの講習会

【コケ玉を作ろう】

日時：7月11日(土) 10時から12時まで
場所：花とみどりの相談所
講師：同所相談員 村尾 廣子
定員：小学生3年生以上 24人
費用：700円
申込：7月4日(土) 9時15分から 先着順 電話可



ハイゴケを使ってコケ玉を作ります

【風鈴を使ったつりしのぶ作り】

日時：7月25日(土) 10時から12時まで
場所：花とみどりの相談所
講師：市原 誠さん(つりしのぶ園代表)
定員：24人
費用：3,300円
申込：7月18日(土) 9時15分から 先着順 電話可



花とみどりの相談



花とみどりに関する相談を受け付けています。お気軽にどうぞ！

相談時間は、**火曜日・木曜日**の**13時から16時30分**までです。
電話による相談も行っています。

7月の休所日 毎週の日曜・月曜日と21日(火)です。



豊中市 花とみどりの相談所



〒561-0804 豊中市曽根南町1丁目4番1号(豊島公園内) 阪急宝塚線 曽根駅南 徒歩500m

TEL 06-6863-8439

FAX 06-6863-3638